

適用規格		UL:UL1977				
定格	使用温度範囲	-55℃～85℃(注1)	保存温度範囲	-10℃～60℃(注2)		
	電圧	AC 300 V	使用湿度範囲	相対湿度 85%以下 (但し結露の無いこと)		
	電流	3 A	保存湿度範囲			
UL定格	電圧	AC 250 V				
	電流	1 A				
性能						
	項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	15 mΩ以下	○	-	
	絶縁抵抗	DC 500 V で測定する。	1000 MΩ以上	○	-	
	耐電圧	AC 1000 V の電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-	
機械的性能	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 15 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 全振幅 1.5 mm, 3 方向各 2 時間試験する。		○	-	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。		○	-	
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 湿度 90~95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 15 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+125→+15→+35℃ 時間 30→10~15→30→10~15分 を 5 サイクル試験する。		○	-	
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水, 48 時間放置する。		○	-	
	硫化水素	濃度 3 ppm, 96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 38)		○	-	
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合: はんだ温度 260±5℃ 浸せき時間 10±1秒間		外観の変形及び端子などに著しいガタのないこと。	○	-
		はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内			○	-
はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃, 浸せき時間 2 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が新しいはんだでぬれていること。	○	-		
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
△ 2	DIS-F-00005942		AK. IWAHORI	HT. YAMAGUCHI	20200313	
備考			承認	HT. YAMAGUCHI	20181210	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。			検図	HT. YAMAGUCHI	20181210	
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			担当	HR. NAGAYASU	20181207	
試験規格の記載のない試験方法は MIL-STD-202 を適用している。			製図	TS. HORI	20181207	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番 SLC-386222-00-00			
HRS	製品規格表		製品名 HIF3H-*PB-2.54DSA (61)			
	ヒロセ電機株式会社		製品コード			
					△ 1/1	